



気張る男、松本重太郎 生誕の地 ※

10歳にして志を持って家出。京都での丁稚奉公から大坂へ、その後、銀行・鉄道・紡績・ビル会社など、次々と創業し、遂には「西の渋沢翁」とまで言われた松本重太郎は間人の生まれです。関西一の財界人であり、幕末から明治期を深く駆け抜けた近代日本を代表する実業家です。

常に走り続けた男、松本重太郎のその波瀾の生涯は、城山三郎著の「気張る男」という本にもなりました。

思い出メモ
 まちあるきの中で出会った情景やできごとなどを。

- 凡例**
- 目印になる建物
 - 旅館・民宿
 - Ⓜ 休憩スポット
 - ♻ 公衆トイレ
 - 🎣 釣りスポット
 - ⚠ 階段